

病院だより

～インフルエンザ流行中！～

当院でもインフルエンザ診断が早期にできるようになりました!!

今年度国保病院ではインフルエンザ検査迅速キットを導入。今までは発症後24時間程度経過しなければ検出できなかったウイルスが、このキットを使用すると発症後数時間程度のウイルス量でも、インフルエンザの診断が可能となりました。

インフルエンザの予防

予防接種

手洗い

うがい

室内の湿度は50～60%を保つ

外出時はマスクを着用

人ごみを避ける

バランスの良い栄養と休養

予防接種はウイルスに対する免疫力を高めることで発症の低減と、症状の重篤化を予防します。インフルエンザが重症化すると肺炎や脳症などの合併症を起こす可能性があります。特に基礎疾患のある方や小児や高齢者の方は注意が必要です。予防接種と早めの受診で重症化を予防しましょう。

12月のインフルエンザ予防接種実施日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

受付時間午後3時～午後4時45分

面会時のお願い

インフルエンザ流行期は、マスクの着用と手指消毒をお願い致します。小さなお子様や風邪症状のある方の面会は、控えるようお願いいたします。面会制限を行う事もあります。

ご協力よろしくをお願いいたします。

インフルエンザの感染経路

インフルエンザウイルスは、飛沫感染という、くしゃみなどで、ウイルスが飛散し健康な人の鼻や口の粘膜から侵入して移ります。また、ウイルスが着いた手で、鼻や口を触って移ることもあります。

インフルエンザの治療

インフルエンザの治療は、抗インフルエンザウイルス薬を使用します。発症後48時間以内に使用することで、ウイルスの増殖を抑え症状の改善を早めます。

平成30年度決算状況の概要をお知らせします。

病院経営面では、医師3名体制の3年目となりました。平均入院患者数は前年度32.2人から今年度32.9人と横ばいではありましたが、経常収支としては、47,552,831円の赤字となりました。これに前年度繰越欠損金6,834,004円を加えますと、54,386,835円の当年度未処理欠損金計上となりました。

患者数においては、対前年度比で入院280人、2.4%増の12,040人、外来では1,122人、6.6%減の15,831人となりました。

施設整備では、内視鏡室改修、改築以来、20年が経過しましたボイラーの故障により更新しました。

器械備品整備では、ホルタ記録器（心電計）、医事会計システム等（医事、健診、在庫、財務）、他2件を更新しました。

今回の赤字決算の大きな要因は、入院収益においては、主に入院患者1人1日当たりの収益の減（前年比△995円）、外来収益においては、1日平均外来患者数の減（前年比△4.6人）によるものです。

病院利用者の減少傾向が続く中、今後の病院経営はさらに厳しさを増すものと思われませんが、院長を中心に職員一丸となって新病院改革プランに基づいた取り組みを確実に実施し経営改善に努めてまいります。また、他の医療機関や介護施設との連携を強化していくとともに、真に必要とされている医療機能を安定的に確保しながら、町民の皆様に信頼される病院を目指してまいります。

◎収益的収支決算額(対前年度決算額)

項目	平成30年度	平成29年度	増減額	増減率
病院事業収益	630,817,517	659,375,626	△28,558,109	△4.3
入院収益	213,477,618	220,217,430	△6,739,812	△3.1
外来収益	199,196,731	214,068,877	△14,872,146	△6.9
他会計負担金	178,101,000	184,134,000	△6,033,000	△3.3
国・道補助金	1,074,000	1,439,000	△365,000	△25.4
その他	38,968,168	39,516,319	△548,151	△1.4
病院事業費用	678,370,348	698,053,806	△19,683,458	△2.8
給与費	414,070,606	416,126,254	△2,055,648	△0.5
材料費	129,195,893	145,315,780	△16,119,887	△11.1
経費	57,121,508	54,669,378	2,452,130	4.5
減価償却費	44,888,875	45,307,062	△418,187	△0.9
その他	33,093,466	36,635,332	△3,541,866	△9.7
純損益(収益－費用)(赤字)	47,552,831	38,678,180	8,874,651	22.9

◎借金(企業債残高) 588,591千円

◎貯金(内部留保資金) 689,231千円

◎患者数状況

年 度	入 院			外 来	
	患者数	1日当り 患者数	病床 利用率	患者数	1日当り 患者数
平成29年度	11,760人	32.2人	53.7%	16,953人	69.7人
平成30年度	12,040人	32.9人	55.0%	15,831人	65.1人

◎職員数

区分	平成30年度末		
	正職員	臨時職員	合計
医 師	2.5人	0人	2.5人
技術職員及び補助員	3.7人	3人	6.7人
看護職員	23人	3人	26人
事務職員	4人	4人	8人
その他の職員	1人	13人	14人
合 計	34.2人	23人	57.2人

注：パート職員は除く。小数点は、やまびこ老健施設兼務(医師・薬剤師)による。

より良い病院運営を行うために、皆さまのご意見、ご要望、励ましの言葉など何でも結構ですので、別紙用紙にてお寄せください。

病院スタッフを募集しています!!

看護師、准看護師、介護員(介護福祉士、旧ヘルパー2級)、医療事務員を随時募集しております。

ご本人はもちろん、知人の方でもどうぞご相談ください。
お待ちしております。

(☎0142-83-2228)

院内職員研修

— より良い医療が受けられるように —

病院では、患者様が安心して外来・入院治療を受けていただけるよう、計画的に院内・院外研修を実施し、職員の能力アップに努めております。

その一部をご紹介します。

職員一同、学んだことを積極的に実践し、病院運営に活かしてまいります。

褥瘡対策研修【令和元年9月18日】 「身体にかかる圧の影響と対策」

寝たきり等によって、外圧がかかり骨によって圧迫された組織が障害された状態が褥瘡ですが、その予防方法等について、病室で器具などを使って専門家より指導を受けました。



医療安全管理対策研修【令和元年10月24日・ 11月15日】 「アンガーマネジメントに学ぶ、患者対応術」

患者様のクレーム等における対応の心構え、怒りに対する対処方法を患者様、職員双方の状況を欲求、義務、権利に基づき考えることの大切さの指導を受けました。

院内感染対策研修【令和元年11月5日】 「血管内カテーテル感染対策」

体内に挿入して検査や治療などを行うための柔らかい細い管をカテーテルといい、当院においても多く使用しており、血管内留置カテーテル等の感染対策の方法について、最新情報を含め専門家の指導を受けました。



10月21日消防訓練を実施

病院・やまびこ合同消防訓練を西胆振消防豊浦支署の協力のもと、やまびこ1階より火災が発生したこと想定して、通報・初期消火・避難誘導、消化器訓練を行いました。

訓練は、毎年2回実施しており、いざという時の対応のし方を共有確認するものです。

今後も職員全員の防火意識向上と日々の安全確保につなげていきたいと思えます。

↓患者役の職員を担架で避難させる



水消火器で消火器の使い方学ぶ←

ミニ文化祭

in 国保病院



国保病院では、町内の文化団体や児童生徒等の芸術文化作品・健康福祉啓発作品を院内に掲示し、入院患者様やお見舞い等の皆様にご覧いただき、数少ない町民とのふれあいと、親しみ喜びを感じる場として開催しました。

今回の作品は、「社会を明るくする運動」の啓発作品で、豊浦町総合文化祭で展示されたものです。町内の児童生徒が、「ポスター」と「標語」を出品し、その中で大賞を受賞した力作ばかりで、「みんな上手だね!」と入院患者様が食事を摂りながら話してくれました。

医師や看護師等が出前講座を開催します。

出前講座は、当院とやまびこの職員が連携し、地域に出向き、町民の皆さまに対して今年度から新たに取り組む活動です。

皆さまにお役立ていただけるような、医療、介護、健康に関する専門知識や技術を分かりやすくご説明します。

自治会や老人会でのサロン活動や教育機関・法人など各種会合、様々な場で、是非ご活用ください。時間や場所、内容は、希望される方々でご相談させていただきます。

ご希望のある方、是非聞きたいことのある方は、病院事務までお問い合わせください。お待ちしております。

救急外来を受診される患者様へ

当院は、北海道より今年7月に「救急告示病院」の指定を受け、救急医療の充実と救急車の受け入れに努めております。

時間外に急病等で受診を希望される場合は(一次救急)、**必ず事前に電話**(0142-83-2228)でご連絡いただきますようお願いいたします。

当直医の判断で、適切な対応を行います。

病院敷地内全面禁煙

当院では、令和元年7月1日より、敷地内(病院内、屋外、駐車場含む)を全面禁煙としています。これは、健康増進法の一部改正による法律措置です。

なお、加熱式たばこについても禁煙の対象です。院内には、体力の低下した患者さんがおります。受動喫煙対策としてもたばこを吸った後の息やたばこ臭のある衣類などにも注意いただきたいと思っております。

どうぞ、ご協力をお願いします。

外来担当医師					
	月	火	水	木	金
午前	能登屋	能登屋	秀毛	秀毛	秀毛
午後	秀毛	秀毛	秀毛	能登屋	能登屋

※ 能登屋医師は、火・水曜日訪問等で不在です。

①診療時間 午前 9時00分 ~ 午後 5時30分

②受付時間 午前 8時45分 ~ 午前11時30分
午後 1時00分 ~ 午後 5時00分

③休診日 土曜日、日曜日、祝日及び12月31日~1月5日

ただし、救急対応しますので、まず、電話(0142-83-2228)を入れて下さい。

電話なく来院されたときは、即時対応できない場合があります。

当院外来受診時のお願い

- ・発熱や下痢などの症状がある方は、事務窓口でお伝えください。
- ・インフルエンザなど感染症疑いのある方は、別スペースでお待ちいただきます。

年末年始の外来診療							
12/30 月	12/31 火	1/1 水	1/2 木	1/3 金	1/4 土	1/5 日	1/6 月
通常診療	休診	休診	休診	休診	休診	休診	通常診療

編集後記：町民の皆さまの身近な病院となるべく、病院だよりを通じて、色々な情報をお知らせしてまいりますので、よろしく申し上げます。

編集者：地域医療総合連携局
局長 大山理恵